

令和6年度 (いずみ高等支援) 学校の研究概要 ～令和7年1月末現在～

運営委員氏名 (佐伯 敬之)

研究テーマ	障害についての理解と生徒支援の工夫 ～発達障害に焦点を当てた取り組みを通して～
研究目標	本校の生徒に関わる発達障害についての理解を深めることにより、生徒一人一人の意欲と自己肯定感を高めていくための効果的な指導と支援のあり方を探究する。
研究内容・方法 研究計画等	〈研究内容・方法〉 ・全校の研究として、障害、特に発達障害についての理解を深め、指導方法を学び、教師集団の専門性を向上させたいと考える。自分が担当している学年、学級、生徒個人を対象にして、実態を把握してその課題にアプローチする取り組みを工夫しながら実践していく。 〈研究計画〉 ・2年計画とする。 ・一人一事例研究を行い、実践集にその成果をまとめる。 ・1年目は研修の年とする。校内での研修や外部から講師を招いての研修会等を行い、発達障害についての理解を深めていく。 ・2年目を実践の年とする。1年目の研修で得た知識や理解を基にして事例研究を行う。さらに事例についての発表会等を行い、効果的な指導について共有し生徒支援の工夫に活用していく。
研究の概要 ・研究経過 ・研究成果等	〈研究経過〉 ○今年度の校内研修について ・第1回－発達障害の基礎的な研修として本校の教員3名の伝達講習を行った。 内容：発達障害のある幼児児童生徒理解と支援について等 ・第2回－外部講師を招いて研修会を行った。事前に本校教員に指導上での困り感等についてアンケートをとり、それに対応した内容で講話していただいた。 内容：特性に基づいた具体的な対応、関わりのポイント等 ・第3回－本校の教員による講話を行い、発達障害と認知特性、PT理論を中心に研修を行った。 ○次年度に向けて今後予定している活動等について ・2年目の実践に向けて先行事例発表を行う。研究の方向性を確認すると共にお互いの指導方法について学び合い、次年度の実践につなげていきたい。

※本様式内で簡潔にまとめてください。なお、項目名や枠の大きさは任意に変更していただいて結構です。